

第11回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー

《講師》

大森 治夫 先生（学習院大学）

《演題》

不忠実なDNAポリメラーゼ

《日時》 11月28日(水)午後4時20分から

《場所》 京都府立大学附属図書館3階視聴覚室

《講演内容》

染色体DNAに組み込まれた遺伝情報を安定に子孫に伝えるためには、鋳型鎖の塩基配列は極めて忠実にコピーされねばならず、その過程に関わるDNAポリメラーゼは低頻度で起こすエラーをも自ら校正する機能を備えている。しかし、このような忠実度の高い複製型DNAポリメラーゼは損傷を受けた塩基を鋳型にすることが出来ず、エラーというリスクを冒しても損傷部位を乗り越えてDNA合成を続けることの出来るDNAポリメラーゼが一時的に働くことが必要となる。DNA損傷に対する応答反応としての損傷乗り越え合成について議論する。

《連絡先》

織田 昌幸（生命物理化学研究室）
E-mail; oda@kpu.ac.jp, Phone; 075-703-5673